

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

1175

広域観光連携事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	2	観光客の誘致
取組方針	2	外国人観光客の誘致促進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		観光振興費	
	大事業		観光振興事業	
	中事業		広域観光連携事業	

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 観光課 澤本 博行 435-1234
事業実施の根拠法令			関連課	

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要		
	海外からの観光客誘致を図るとともに、広域的な観光地としての魅力向上を図る。		周辺市町村を含めた広域的な観光地としての魅力を向上させるため、各種団体との連携を行う。		
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
	○紀の川みち広域観光連絡協議会との連携 ○関西国際空港内観光案内所の運営 ○和みわかやまキャンペーン	○紀の川みち広域観光連絡協議会との連携 ○関西国際空港内観光案内所の運営 ○和みわかやまキャンペーン	○紀の川みち広域観光連絡協議会との連携 ○関西国際空港内観光案内所の運営 ○和みわかやまキャンペーン ○日本遺産魅力発信事業	○紀の川みち広域観光連絡協議会との連携 ○関西国際空港内観光案内所の運営 ○和みわかやまキャンペーン ○日本遺産魅力発信事業	○紀の川みち広域観光連絡協議会との連携 ○関西国際空港内観光案内所の運営 ○和みわかやまキャンペーン ○日本遺産魅力発信事業

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	3,366	3,304	3,459	3,813	4,300	4,253	4,355	0	4,355	0
伸び率(%)	17%	20.1%	2.8%	15.4%	24.3%	11.5%	1.3%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	7,710	7,710	6,541	6,381	6,394	3,757	4,236	0	4,236
	正規職員以外	0	0	0	0	0	99	50	0	50
	小計	7,710	7,710	6,541	6,381	6,394	3,856	4,286	0	4,286
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	3,366	3,304	3,459	3,813	4,300	4,253	4,355	0	4,355	0
所要人数(人)	正規職員	0.97	0.97	0.82	0.80	0.80	0.47	0.53	0.00	0.53
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.02	0.00	0.02
主な予算内訳	各種会議負担金2, 253千円 観光事業負担金1, 991千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
紀の川みち広域連絡協議会 他市町村イベント(真田祭)パンフレット配布数		枚	目標値	500	500	500	500	500
			実績値	500	500	500	500	
			達成度(%)	100%	100%	100%	0%	
関西国際空港案内所へのパンフレット配布		枚	目標値	16000	16000	16000	16000	16000
			実績値	11600	10200	14374		
			達成度(%)	72%	63.8%	89.8%	0%	
年間観光客数(暦年)		千人	目標値	6695	6840	6920	7000	7000
			実績値	6492	6511	6686		
			達成度(%)	96.97%	95.19%	96.6%	0%	
外国人宿泊客数(暦年)		人	目標値	160000	200000	230000	270000	270000
			実績値	156498	121659	117034		
			達成度(%)	97%	60.8%	50.9%	0%	

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	紀の川流域の市町等と連携し、広域的な観光ルートの提案、振興を図っていく。@@関西国際空港を利用する旅行者に対して関西国際空港内の観光案内所において、ニーズに応じた的確な観光情報を今後も提供する。
見直し・改善内容	紀の川みち広域連絡協議会：協議会で広域観光PRできるよう、連携を強化するとともに、民間企業との連携や、パンフレットの多言語化を検討する。@@